

令和6年度 研究計画書

令和 年 月 日

研究種目		課題研究	
研究課題		「富士北麓の採取活動が維持されてきた社会的背景に関する研究」	
研究代表者		自然環境・共生研究科 小笠原輝	
研究期間		令和5年～令和7年、今年度は2年目/3年計画	
研究分担者		所内：	研究協力者
		所外：	所内：
			所外：齋藤暖生（東京大学）
施策	山梨県 科学技術 基本計画	成長促進分野	質の高い地域環境の保全・活用と健康増進分野 山梨ブランドの価値向上分野
		取組項目	自然資源の保全及び適切な活用に関する研究 地場・伝統産業の活性化に関する研究・開発
関連	山梨県 総合計画	戦略1政策3. 8地域資源の掘り起こしと磨き上げの推進	
	その他 部門計画	やまなし森林整備・林業成長産業化推進プランp42森林空間の利活用 やまなし観光産業活性化計画p36地域の価値創造（既存資源の再発掘）	
研究の背景・ ニーズ		富士北麓ではスズタケなどの採取活動が続けられている。これらの採取活動の継続性は日本でも貴重な例となっている。山梨県の伝統的工芸品富士勝山スズタケ細工の材料として採取されており、貴重な地域資源の一つとなっている。しかし、これらの採取活動は担い手の高齢化などの問題に加え資源の枯渇など新たな問題も生じている。	
研究目的		富士北麓で続けられてきた採取活動のうちスズタケを事例として、これらの採取活動とそれに関わる文化が継承されてきた社会的背景を把握する。採取活動やその文化の継承に地域のシンボルやアイデンティティ、外来者の参入状況などがどのように影響を与えているかを明らかにし、今後この地域において人間と周囲の自然環境との関係に関わる採取活動と文化を継承するための重要な知見を得ることを目的とする。	
研究目標		富士北麓の採取活動のうち、スズタケを事例にその継承されてきた採取活動とそれに関わる文化について次の点を明らかにする。 (1) 採取活動が続けられてきた社会的背景を明らかにする (2) 採取活動やその文化の継承において、地域のシンボルやアイデンティティ、外来者の参入などの要因との関連性について検討する (3) 採取活動の記録や情報整理から、この地域において人間と周囲の自然環境との接点に関わる採取活動や文化を継承していくための基礎資料を作成する	
研究全体の 研究計画・ 研究方法ならび に研究体制 (共同研究において は、その必要性、 研究分担者の役割 を記入)		採取活動をとりまく社会的変容、採取活動の実態（慣行・技術・採取民具・場所や動植物の知識、行動様式、人間関係など）をから採取活動が続けられてきた社会的背景を明らかにするため、1～2年目にスズタケ採取に関する聞き取り調査を行う。また、地域のシンボルやアイデンティティ、外来者の参入等と採取活動の継続性について関連を調べる（3年目）。 採取量・採取種・採取日数などの行動記録をとるとともに、個人間の行動観察から、行動や知識の量、外来者に対する考え方などの社会的、社会的な相違点を明らかにするために、1～2年目に 参与観察（採取者とともに行動） を行うとともに、2～3年目に 採取活動の映像記録 （採取者の目線カメラ・俯瞰撮影）を行う。映像は編集を行って採取活動や文化の継承に資する基礎資料を作成する（3年目）。 研究期間を通して富士北麓における採取活動に関わる 文献研究 （既往研究の整理・古文書などの資料整理）を行う。 <スケジュール> 富士北麓における採取文化全般に関する 文献研究・資料整理 （1～3年目） スズタケ採取の 聞き取り調査 及び 参与観察 （1～2年目） 地域の文化と採取活動の継続性との関連性の検討（3年目） 映像記録 撮影および編集作業（2～3年目） 採取活動における行動等の比較（3年目） その他の採取 その他の採取活動に関する調査研究（主に観察・2年目） 研究総括	

	<p>採取活動や文化が継承されてきた背景やその要因との関連性についての検討（3年目）</p> <p>採取活動や文化の継承するための基礎資料作成（3年目）</p> <p>○研究協力者は富士北麓において採取活動を長年研究しており、共同調査を行うほか、研究に対して助言をしていただく予定である。</p>
<p>前年の 研究計画・ 研究方法ならび に研究成果 (初年度の場合は 事前調査内容など を記入)</p>	<p>【1年目】</p> <p>① 富士北麓における採取文化全般に関する文献研究・資料整理</p> <p>② 採取場所や採取活動の社会変容に関する調査研究</p> <p>③ 映像資料撮影および編集作業</p> <p>④ スズタケの採取に関する調査</p> <p>⑤ ススキの採取に関する調査</p> <p>【研究成果】</p> <p>③および⑤は未達成、⑤は取りやめてスズタケの採取活動に調査を集中する。</p> <p>②④にも未達成部分が生じているが、採取活動等の調査はできた。</p> <p>初年度は、スズタケの採取活動について調査を行った。スズタケの採取・加工を参与観察し、250gの竹細工を製作するのに1620gのスズタケを必要としていることが明らかとなった。</p> <p>また、採取場所では「良い」と考えられる竹が不足してきており、大型の竹細工が製作できなくなってきていること、日本各地でスズタケの枯死が報告されており、富士北麓のスズタケが資源として注目されていることなどが明らかとなった。参与観察によるデータは蓄積されつつあるものの、採取の映像などは撮影できていない。</p> <p>バイオストーリー（生き物自然誌学会）に研究成果を投稿中</p>
<p>今年度の 研究実施内容 (研究計画・ 研究方法) ならびに期待さ れる研究成果</p>	<p>【今年度の予定】</p> <p>引き続き 富士北麓における採取文化全般に関する文献研究・資料整理</p> <p>採取場所や採取活動の社会変容に関する調査研究</p> <p>映像資料撮影および編集作業</p> <p>スズタケの採取に関する調査</p> <p>その他の採取に関する調査</p> <p>【期待される研究成果】</p> <p>富士北麓における採取活動の現状の把握・記録の作成</p> <p>富士北麓における自然資源採取の持続性に対する評価</p>
<p>最終的に 期待される 研究成果</p>	<p>採取活動が続けられてきた社会的背景をさぐり、人間と周囲の自然環境との関係に関わる採取活動とその文化を継承していくために重要である次の知見が得られる。</p> <p>この地域において人間と周囲の自然環境との関係に関わる採取文化を、将来にわたって継承していくための資料となる</p> <p>富士山の全体の文化を考える上で必要な「すそ野」の文化の把握と発信につながる採取文化が将来的に継承されるために必要な補助や施策が明らかとなる。</p>

★全体で 3 ページを超えないよう、セルの高さ、幅、行間などを調整して、見やすいように工夫してください。

★★**研究計画書（事前評価）の内容と矛盾のない様に作成してください。**研究内容を大きく変更する必要がある場合は、**事前に各研究科等リーダーおよび研究部長と相談してください。**別途、変更